

対 象 機 種

AWF-1000RBシリーズ

このたびは、東芝非常用放送設備をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。お買い上げの非常用放送設備を正しく設置いただくためにこの書き込みのしかたをよくお読みください。また、お読みになった後は必ず保存してください。

目 次

- 1, 設定する項目の概要
- 2, プログラムのしかた（基本操作）
- 3, 各項目のプログラムのしかた
- 4, 確認のしかた
- 5, プログラム初期化のしかた

1, 設定する項目の概要

本機では、テンキー及び、放送階選択スイッチ等で、プログラムできます。
設定する項目は、以下の通りです。

1, 業務放送の優先指定

壁掛本体の非常業務兼用マイク放送、非常業務リモコン、多線式業務リモコン、時報チャイム入力、ライン入力を書き込みにより任意に優先順位を付けて（1～4位）放送できるようになります。同一順位では、ミキシングか後取り優先を指定できます。初期設定は、全て第1位、同一順位内は後取り優先です。

2, 非常の手動起動の直上階指定の場合のキーOFF指定

非常の手動起動に必要な階別制御を直上階方式にしている場合、制御をOFFする操作が、階別か直上階かを選択するモードです。初期設定は階別（ダイレクト）です。

3, 放送文の英語放送追加指定

避難誘導放送に日本語の他に、英語放送を追加するかしないかの設定です。初期設定は英語放送無しです。

4, 業務ブロックの設定

業務ブロックスイッチ1～5の放送先を設定します。

初期設定は、ブロックスイッチ1～5に放送階選択スイッチの1～5が割り当てられています。

5, 業務制御入力の放送先設定

多線式業務リモコン、時報チャイム入力、ライン入力の制御入力で、制御する放送先の指定をします。

初期設定は1～10は多線式業務リモコンで放送階選択スイッチの1～10をそれぞれ選択します。

時報チャイム入力11は、緊急一斉で、ライン入力12は通常一斉で指定されています。

6, 非常放送時の放送先ブロック指定

非常の非常放送時に放送する回線のブロックを指定します。

初期設定は、一つの回線を一つのブロック（階）として、階別に設定してあります。

7, 自火報起動時の放送先指定

自火報等からの階別信号により起動したときに連動して放送する回線を設定します。
初期設定は、一つの回線を一つの階として、地上階の直上階方式で設定されています。

8, 放送文の指定

発報放送、火災放送に入れる階情報の指定をします。初期設定は、階情報なしです。

9, タイムアップ時間の指定

非常起動から、火災放送に自動的に移行するタイマーの時間を設定します。
2分～5分の間で秒単位で設定できます。初期設定は、2分（120秒）としています。

2, プログラムのしかた

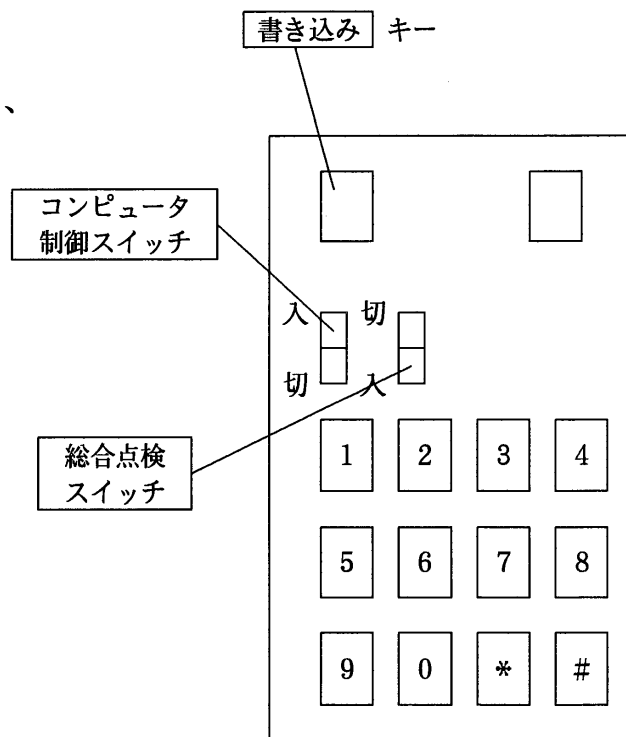
プログラムを入力するには、マイク扉を開けてください。
まず **書き込み** スイッチを一度押します。（ピー、ピッ、ピッと鳴りマイク指示灯が点滅します。）
プログラムモードになり、書き込み待ちになります。

（書き込みを中止するときは再度 **書き込み** スイッチを押してください。ピッ、ピッ、ピーと鳴りマイク指示灯が消えます。）

<特殊キー>

***** 途中で書き込みを取消するときに使います。

確定キー



<ご注意>

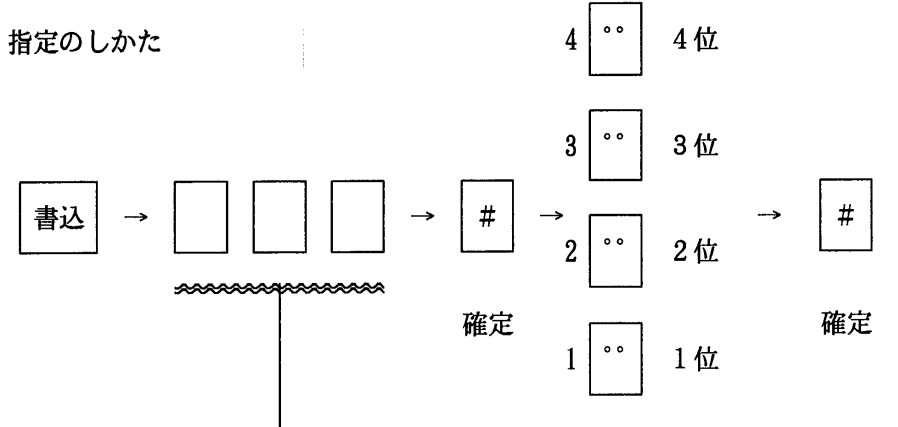
書き込みモードで放置されるのを防止するために、書き込みモードで60秒間何も操作しないと、通常モードに戻ります。

コード番号一覧表

書き込み項目	入力コード番号
業務放送の優先順位	001～005
キーOFF	101
英語放送の追加	102
業務放送の同一順位内優先	103
業務ブロックスイッチの指定	201～205
業務制御入力指定	301～312
非常の手動起動の設定	401～420
非常の自火報起動の指定	501～520
タイムアップ時間の設定	601
階情報の設定	701～726
確認モード	999

3-1 業務放送の優先順位指定

業務放送の優先順位指定をします。放送中の機器より優先順位の高い機器が起動すると優先順位の高い放送に移ります。業務放送には、本体マイク放送、非常業務兼用リモコンマイク放送、多線式業務リモコン、時報チャイム入力、ライン1入力があります。その他の本体入力は本体マイク放送とミキシングになります。



該当する機器のコード番号
をテンキーで入力する

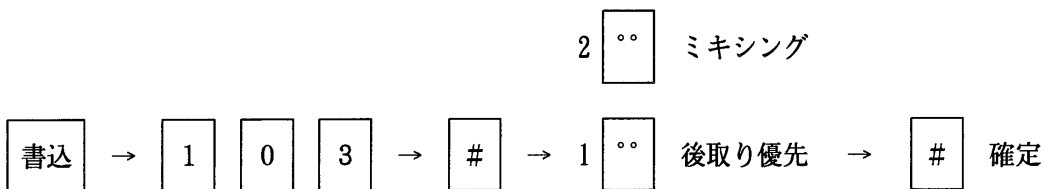
- 0 0 1 本体マイク
- 0 0 2 非常業務兼用リモコン
- 0 0 3 多線式業務リモコン
- 0 0 4 時報チャイム入力
- 0 0 5 ライン1入力

放送階選択スイッチの1～4の
いずれかを押しして順位を選択
選択されたスイッチの階別作動
表示灯が点灯します。

3-2 同一順位内の優先指定

業務放送の同一順位内の優先を指定します。後取り優先か、ミキシングを指定できます。

書込のしかた



テンキーで入力

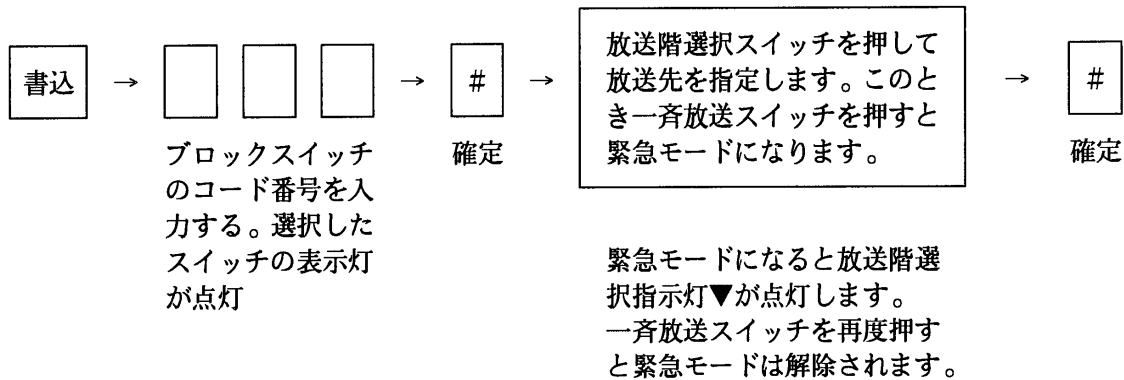
確定

放送階選択スイッチの1～2の
いずれかを押しして順位を選択
選択されたスイッチの階別作動
表示灯が点灯します。

3-3 業務ブロックスイッチの放送先設定

業務ブロックスイッチとは、複数の放送階選択スイッチをまとめて制御するものです。業務ブロックスイッチはいずれの機種も5ヶ用意されています。

書込のしかた



コード番号

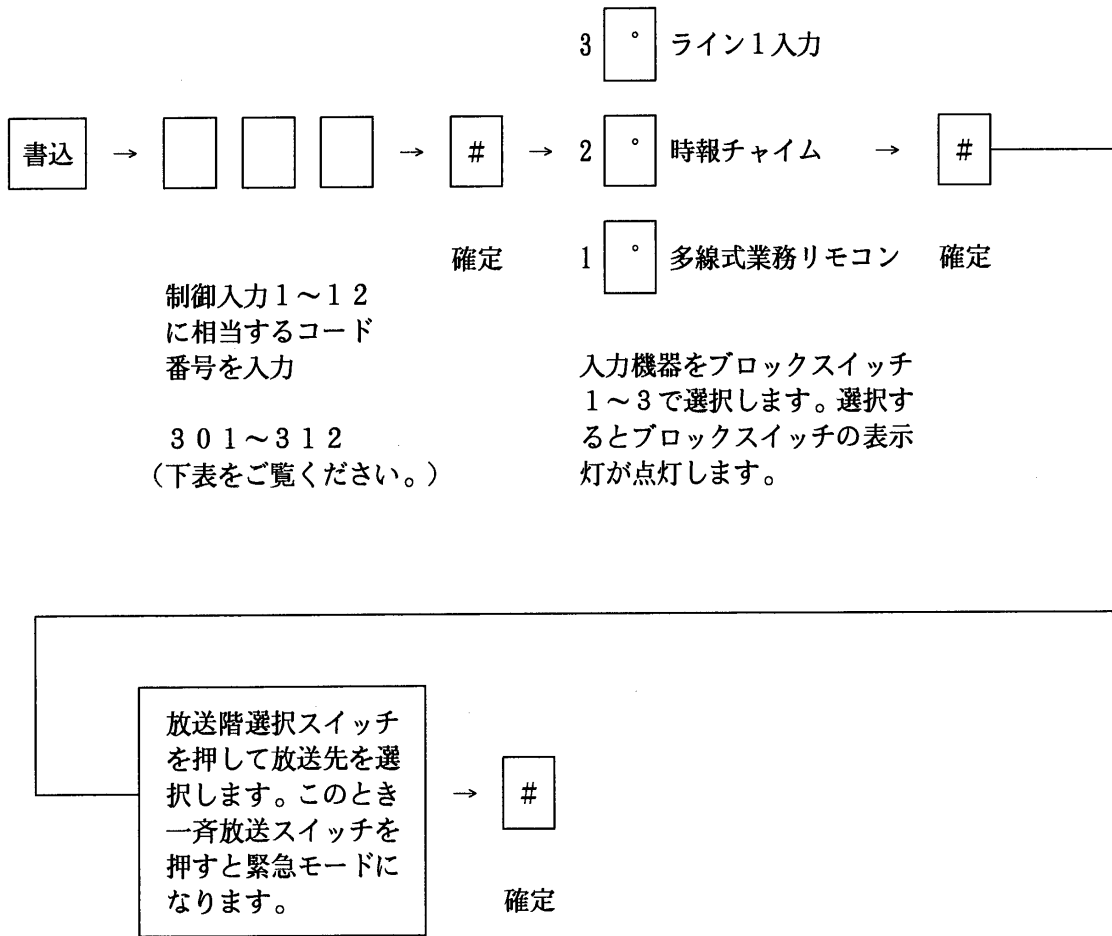
201	ブロックスイッチ1
202	ブロックスイッチ2
203	ブロックスイッチ3
204	ブロックスイッチ4
205	ブロックスイッチ5

<ご注意>

緊急モードとは、スピーカ回線の配線が3線式の場合にアッテネータを使用している場合、強制的に最大音量で放送するモードです。

3-4 業務制御入力の放送先設定

多線式業務リモコン、時報チャイム、ライン1入力の放送先を、12ある制御入力に割り当てて、放送先を指定します。12ある入力はその機器の信号入力にも使用可能です。



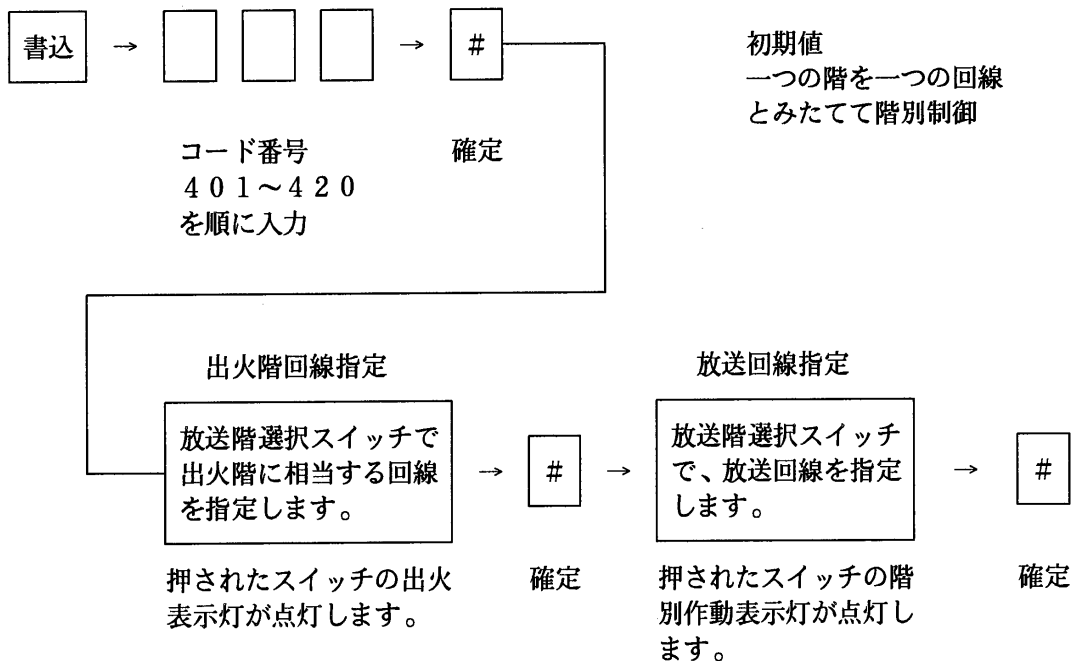
緊急モードになると放送階選択指示灯▼が点灯します。一斉放送スイッチを再度押すと緊急モードは解除されます。

初期設定値

制御入力	コード番号	業務機器	放送先回線番号	放送モード
1	301	業務リモコン	1	通常モード
2	302	〃	2	〃
3	303	〃	3	〃
4	304	〃	4	〃
5	305	〃	5	〃
6	306	〃	6	〃
7	307	〃	7	〃
8	308	〃	8	〃
9	309	〃	9	〃
10	310	〃	10	〃
11	311	時報チャイム	一斉放送	緊急モード
12	312	ライン1	一斉放送	通常モード

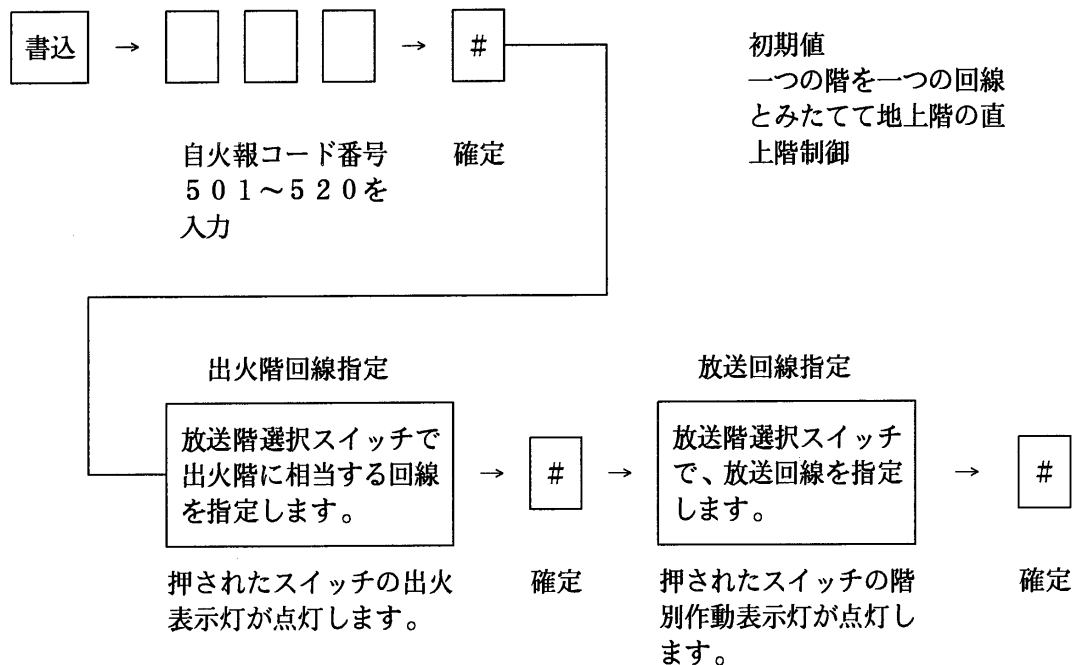
3-5 非常の手動起動の放送先設定

非常起動スイッチを押して非常放送するとき放送階選択スイッチを押すと、必要な階ごとに選択されて放送できる様にするための書込です。



3-6 非常の自火報起動の設定

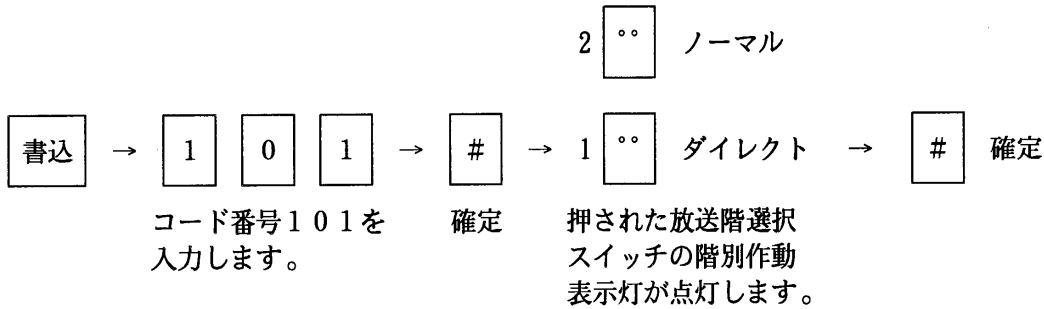
自火報が働いたときに、表示する出火階回線と放送する階の回線を設定します。



自火報のコード番号501～520は、自火報入力1～20に対応します。
AWH-1000RBは、自火報入力は10（501～510）しかありません。

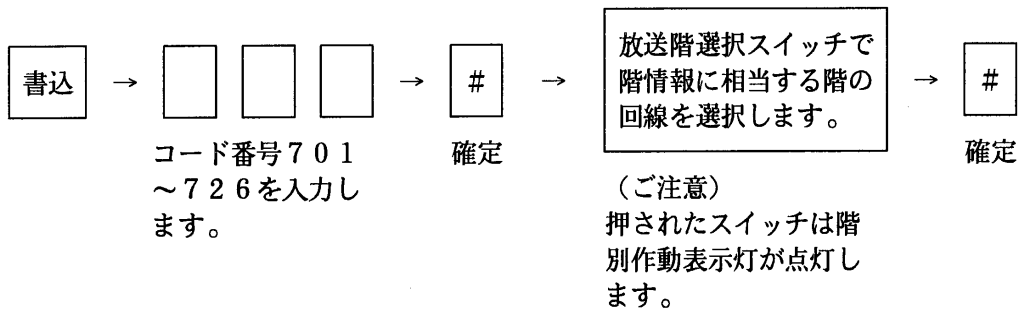
3-7 キーOFF指定

手動の非常起動で、直上階方式でプログラムされているときに、放送階選択解除を階別で行うか直上階で行うかを設定します。階別に設定した場合は設定の必要はありません。(初期値 ダイレクト(階別))



3-8 放送文の指定

発報放送、火災放送に含まれる階情報を設定します。



階 - コード番号一覧表

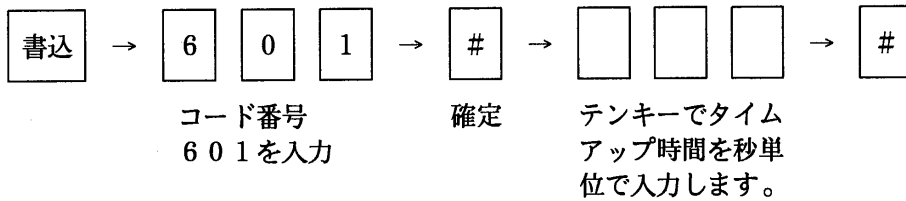
階	コード番号	階	コード番号	階	コード番号
B3F	701	8F	711	18F	721
B2F	702	9F	712	屋上	722
B1F	703	10F	713	階段	723
1F	704	11F	714	エレベータ	724
2F	705	12F	715	階情報無し	725
3F	706	13F	716		
4F	707	14F	717		
5F	708	15F	718		
6F	709	16F	719		
7F	710	17F	720		

初期値は、全て階情報が無しになっています。

(ご注意)
3-5項でいくつかの回線を1つの階にまとめた場合はまとめた放送階選択スイッチのうちいずれかを選択すれば、残りの放送階選択スイッチには自動的に設定がされます。

3-9 タイムアップ時間の設定

発報放送から火災放送に自動的に移行する時間の設定です。
設定できる時間は120秒（2分）～300秒（5分）です。



テンキーで時間を入力すると
ブロックスイッチの表示灯に100の桁
放送階選択スイッチの出火階表示灯に10の桁
放送階選択スイッチの階別作動表示灯に1の桁
が点灯表示されます。

初期値は120秒（2分）です。2分未満、5分を超える設定はできません。

3-10 英語放送の追加

発報放送、火災放送、非火災放送のメッセージに英文を追加するかどうかの設定です。

